

ごみ減量を考える 標語を募集します

ごみの減量、環境美化意識を高め、3Rの推進を呼びかけるため、町では、平成22年度版の「資源・ごみ収集カレンダー」に掲載する標語を募集します。

●応募期間

11月9日(月)～12月4日(金)

●応募資格

町内に在住されている方、または町内に通勤・通学されている方

●標語の内容

ごみ減量、環境美化、3Rの推進を呼びかけるもの

●選考等

標語の選考は、日野町エコライフ推進協議会で行い、採用者には記念品を贈ります。

●応募方法

標語は、おおむね20字以内として、住所、氏名、電話番号を記入の上、はがき、または封書で住民課生活環境交通担当まで応募してください。応募はひとり2作品までとさせていただきます。

◆応募・問い合わせ先

〒529-11698

日野町河原一丁目1番地

日野町役場

住民課 生活環境交通担当

(日野町エコライフ推進協議会事務局)

☎0578 有線 7784



☆3Rとは？ Reduce (リデュース) ⇒物を大切に使う。ごみを減らそう。Reuse (リユース) ⇒繰り返し使う。Recycle (リサイクル) ⇒再び資源として利用しよう。

ペットボトルキャップ

652,560個回収

～日野駅前通り共栄会～

日野駅前通り共栄会では、平成19年7月からペットボトルキャップのリサイクルに取り組まれており、8月末日までに652,560個(1,631.4kg)

のペットボトルキャップを回収されました。これらのペットボトルキャップは、プランターなどに生まれ変わり、販売・活用されています。



リサイクルのプランターで彩られた駅前

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

空は青く澄みわたり、白い雲がほつかりと浮かぶ。転作田のコスモスは、赤、白、ピンクの花びらをつけ、緑の茎の間をさわやかな風が吹き

ぬけてゆく。くれよんで描いた風景画のような日野の秋。コスモスの花言葉は「純真」。「純真」な子どもたちを大切に育てようと早期療育事業「くれよん」を保健センターで実施し1年半が過ぎました。

10月から役場の隣に専用施設を開設しました。「くれよん」の名は、くれよんのように色々な子どもたちの個性を大切にしたいという思いが込められています。

個性を大切にしたいのは町づくりも同じ。11月3日は文化の日、自由と平和を愛する文化国家をめざす日本国憲法が公布された記念の日です。憲法は地方自治の本旨を定めています。自治とは、住民が自分たちの町のことは自分たちで考え決めるということ。滋賀県で最初に合併が持ち上がったのは、安土・五箇荘・能登川の三町でし

た。それが破綻した後、近江八幡市との合併が議論されましたが、住民の皆さんの意思はノーでした。それでもまた今回、合併が進められたため、ついに町長リコール(解職)運動に発展、5月には必要な署名が集められ、8月23日にはリコール投票で現職町長が失職、10月4日の選挙で住民運動の代表者の大林氏が当選されました。町民の意思は一貫して安土町の存続なのにこのままでは来年3月21日で近江八幡市と合併し安土町がなくなります。

「平成の大合併」は、「合併しないと言っていけない」という「脅し文句」によって全国で進められました。この国には大きな都市も小さな町村もあっていい、この国は都会も田舎もあって成り立っている。コスモスの花のように色々な色合いの自治体があつていい。大きくなければとか「効率的」でなければとかいう「これまでの価値観」をチェンジし、コスモスの花言葉のように「純真」な気持ちで、安土の皆さんのように町を愛する人たちの思いが大切にされる国をつくらなければと思います。